



2026年9月8日

森下仁丹株式会社

報道関係者各位

森下仁丹、キャリア教育における副教材「中学生のためのお仕事ブック（京阪版）2026年度版」に協賛

～生産拠点のある枚方市周辺の中学生へ、地元でのモノづくりの魅力と将来の選択肢を提示～

森下仁丹株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長 森下雄司、以下「当社」）は、キャリア教育の副教材として地域ごとに発行されている『中学生のためのお仕事ブック（京阪版）2026年度版』に協賛し、当社の研究・生産拠点である「大阪テクノセンター（大阪府枚方市）」での事業内容を紹介するページが掲載されることをお知らせいたします。



近年、文部科学省が学習指導要領にキャリア教育の充実を明記するなど、児童・生徒に対する早期からの職業観育成の重要性が高まっています。当社は、主力工場である大阪テクノセンターを構える枚方市周辺地域の皆様に支えられ事業を展開してまいりました。こうした地域社会への恩返しと次世代育成支援の一環として本教材に協賛し、中学生が「働くこと」を身近に感じ、将来の進路を考える手助けとなる情報を提供いたします。地元企業でのモノづくりに興味を持っていただくことで、地域社会の持続的な発展に貢献したいと考えております。

当社は今後も、事業活動を通じた地域社会とのつながりを大切にし、次世代を担う子どもたちの育成支援をはじめとするCSR活動に積極的に取り組んでまいります。

■「中学生のためのお仕事ブック」について

「中学生のためのお仕事ブック」は、中学2年生を対象にしたもので、自分たちが暮らす地域の産業や、実際に働く人々の仕事について学ぶことができるキャリア教育の副教材です。地元企業や自治体と連携して市区町村ごとに独自に制作されており、写真、イラスト、働く人の声などを交えて中学生が理解しやすい内容となっています。2020年5月に岐阜市で創刊以降、2025年3月までに全国の半数を超える31都道府県で230誌以上が発行されています。